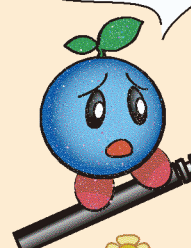


# 未来を守るためにできることから始めましょう!



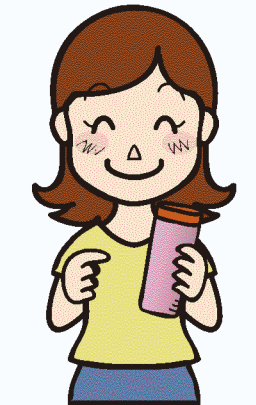
川や海には、いろいろなプラスチックごみが落ちているね…。



## 川ごみ・海ごみを減らすためには

川ごみ・海ごみの多くは私たちの日常生活から発生するものが占めています。これらのごみは日ごろの工夫やひとりひとりの取組みで減らしていくことができます。

- マイボトルを使う
- 不要なレジ袋をもらわない
- 屋外で出たごみは持ち帰る
- 飛散しそうなごみを出すときは集積所ネットを使う
- 清掃活動を行う



使い捨てをなくしごみを出さない、繰り返し使えるものを選ぶ、ごみをする前にリサイクルできるか考える**3R(リデュース・リユース・リサイクル)**が大切なポイントとなります。

## なぜ海にごみがつまってしまうの?

ポイ捨てされたごみや野外に放置されたごみは、雨や風によって川や水路に流され、海にまで流れ込みます。こうしたごみが海岸や海底に次々とたまっていきます。

### ● 川や海に流れ着く 主なごみ ●

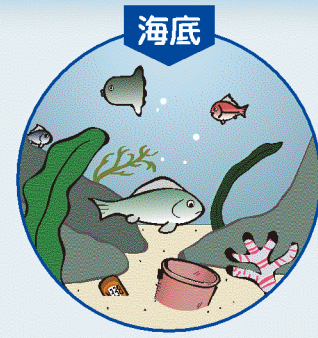


## 「マイクロプラスチック」が生物を危機に!

海ごみの大半はプラスチックです。プラスチックが紫外線や波の力によって5mm以下に細かく砕かれたかけらが「マイクロプラスチック」です。日本近海だけでなく、世界中の海でマイクロプラスチック汚染は深刻な状況です。化学物質を吸着したマイクロプラスチックを海の生きものが食べてしまい、**食物連鎖によって化学物質が濃縮され、それを食べた人間の体に蓄積することが懸念されています。**



太平洋で採取されたマイクロプラスチック  
提供: 東京農工大学 高田秀重教授



## 海に出たごみはどうなるの?

ごみが一度海に流出すると、遠く離れた島まで漂着したり、海の底深くまで沈んだりしてしまいます。私たちの見えないところで環境破壊が進行しています。さらに、このようなごみの処理には大きな労力と莫大な費用がかかります。ごみが川や海に流れ出る前にストップすることが大切です。

## 今起きている悪影響

- 生きものの誤飲・誤食
- 景観の破壊
- 海洋植物の生育阻害
- 船舶事故
- 回収処理の費用負担

